第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：西村 浩輝／副会長：山瀧 正久／幹事：野村 和義

2013～2014年度クラブスローガン

『淡々とロータリーを楽しむ』
ありがとうの心で

2013～2014年度RIテーマ
ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を

〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

本日の出席率８１．５８%: 会員数３８名・出席２９名・欠席７名・出席規定免除会員（２） ２名・ビジター０名
前々回の修正出席率１００%: 出席３４名・メークアップ２名・出席規定免除会員２名

会長挨拶／西村 浩輝君



皆さんこんにちは。益々暑い日が続いております。お身体には気をつけて下さい。

先週の夜の例会後、社会奉仕委員会に出席させていただきました。今後の行事と会員増強のためのリスト作りがあり、数多くの名前があがりましたので楽しみです。詳しいことは、南部建社会奉仕委員長より報告があると思います。

そして7月14日（日）には、地区クラブ奉仕･会員増強セミナーが武雄センチュリーホテルで開催されました。田雑豪裕クラブ奉仕委員長兼会員増強特別委員長と野村幹事と出席しました。特別講演は、「クラブの活性化と会員増強」という演題で、講師は第3ゾーン・コーディネーター第2660地区の井上映夫パストガバナーによるものです。同じ名前の井上亮地区クラブ奉仕統括委員も出席されていて、横の方から居眠りしないか監視していますと言われて目線を感じていましたが、そのうちに感じなくなりました。本人も居眠りしていたようです。

ところで話は変わりますが、ニコニコBOXをいかに増やしていこうかと考え、ニコニコして下さいということで、ニコニコしていただいておりますが、私の考えを少し語りたいと思います。お寺には喜捨箱というものがあり、ロータリーに入ってニコニコBOXも違和感なく、できる範囲で行ってきました。今、こうしていることに感謝し、来訪していただいた方に感謝し、良いことがあったからとか、自分のことを皆さんに知って欲しいとか、こういうときにニコニコするものと考えております。そうすることにより、ニコニコすることや良い事が倍返しになって返ってくるものと思っています。親睦活動委員の方は、ニコニコを無理強いしていると思いながらお願いをしないで、ニコニコをすることによってその人に良い事があり、より多くの幸せを呼び寄せることができると思って、ニコニコを勧めて下さい。私は、御陰様で夢も、希望もない生活を送り、淡々とロータリーを楽しんでおります。ありがとうございました。

Report 幹事報告／野村 和義君

1．例会変更

佐世保東ロータリークラブ
8月22日（木）12：30→8月24日（土）18：30～
ホテルオークラJRハウステンボス 納涼家族会
8月15日（木） 休会 定款第6条第1節のより

佐世保南ロータリークラブ
8月16日（金） 定款第6条第1節により 休会

2．来　　信

・ガバナー事務所
①RI日本事務局「RIJO-FAQ」サービス開始のご案内
②ロータリー米山記念奨学会「ハイライトよねやま160号」
③クラブ奉仕･会員増強セミナー出席のお礼
④福江RC、福江中央RCメールアドレス変更のお知らせ

・直前ガバナー事務所
6月月次報告と月信13号送付希望冊子数について

3．伝達・通知

・7月26日（金）18時30分より水月で第2回会員増強特別委員会を開催します。

committee 委員会報告

井上亮 地区クラブ統括委員会委員
7月14日（日）武雄センチュリーホテルにてクラブ奉仕･会員増強セミナーが開催され、出席して来ました。西村会長、野村幹事、田雑クラブ奉仕委員長も出席されました。詳しくは来週のクラブフォーラムで報告します。

本田実 親睦活動委員長
8月8日（木）の納涼例会の件
会員の出席並びにご夫人の出席のお願いです。会場はセントラルホテル2階ビアガーデンで開催します。

宮崎正典 社会奉仕副委員長
社会奉仕委員会報告です。
・入会候補者35名
・東日本大震災チャリティーバザーを11月に実施予定

週報製作：会報・出席委員会／池永 隆司、長富 寿人、牟田 憲市、鶴田 明敏、古川 直記、糸瀬 新

・長崎県立佐世保特別支援学校が「しおかぜ総文祭り」のオープニングイベントをJR佐世保駅前で13時35分に行います。 和太鼓、よさこい演舞などを披露します。

竹本慶三君
7月5日に鹿児島ロータリークラブに行って来ました。 バナーを頂きてきたので披露します。

(^_^) ニコニコボックス

西村浩輝会長・山瀧正久副会長・野村和義幹事
お暑い中、例会に出席頂きありがとうございます。朝長市長におかれましては、お忙しい中ご来訪頂き心より感謝申し上げます。又、入会候補者長崎県民信用組合理事長 小村泰久様のご来訪を心より歓迎申し上げます。本日は本年度最初のゲストをお迎えしての例会です。市政も気になるところですが、一番気になるのは、「森きらら」の空飛ぶペンギン館の現在の状況でしょうか？今日の卓話、楽しみにしています。

牛島義亮君
朝長市長、本日は卓話ありがとうございます。佐世保の状況をゆっくりと聞かせて頂きます。個人的には市長と朝のウォーキングの時によくお逢いします。本当に毎日ハードな事業をこなしながら、毎日の早朝ウォーキングには感心させられます。私も少しだけ頑張って見習いたいと思います。そして、明日は宜しくお願いします。

佐世保商工会議所青年部ＯＢ（平岩義明君、馬場貴博君、岡光正君、川島千鶴君）
長崎県民信用組合理事長＆YEG現役小村泰久君のオブザーバー出席を大歓迎致します。佐世保中央RCは楽しいですよ。

会員一同
朝長則佐世保市長のご来訪を心より歓迎申し上げます。

本日の合計	42,000 円
本年度の累計	132,000 円

本日の卓話

《 ゲスト卓話 》

朝長則男 佐世保市長
佐世保の魅力を、共に育てよう



■平成２５年、飛躍のステップへ
本市は今年4月、明治35年に市制施行されてから111周年を迎えました。大変縁起が良い年に、「まちづくりの道しるべ」である、「第6次佐世保市総合計画」の後期基本計画がスタートしました。

この一年を「市政発展の更なるステップの年」と位置付け、佐世保のまちが一層元気に飛躍できるよう、3つの「重点プロジェクト」を中心に、市政を進めていこうと考えています。

■３つの「しい」のまち・佐世保
佐世保をもっと「住みたい」「訪ねたい」まちにするため、それぞれの地域の「おいしい」「楽しい」「美しい」という3つの「しい」を、市民の皆さんと共に育てていきたいと思います。



３つの重点プロジェクト
①成長戦略プロジェクト
■企業立地を強力に推進！
地域の雇用創出や経済活性化を目的として、小佐々地区に整備中の佐世保工業団地「ウエストテクノ佐世保」が、いよいよ今年12月に完成します。



現在、１ ,000社への企業訪問を目標とした誘致活動にまい進しており、佐世保市や「ウエストテクノ佐世保」の立地の優位性や魅力を、直接、企業の方々にアピールしています。

■リニューアルにより、「森きらら」を更に魅力アップ！
九十九島動植物園「森きらら」では、リニューアル事業最大の目玉として、「新ペンギン館」の建設を進めています（来年1月オープン予定）。日本最大級となる、約80㎡の天井水槽や、足裏を観察できる日本初の極浅水槽などで、ペンギンの新たな魅力を発見していただけるものと考えます。

来年3月、子ども達に人気がある「アミメキリン」1頭や、現ペンギン舎を活用した新規動物の導入も予定しています。また、「森きらら」と「九十九島」の名称を冠した新しいバラの導入や新規バラ園の整備も計画しており、日本本土最西端の動植物園として、「また行きたい」と思い、もっと愛していただける動植物園を目指します。

■新しく国の「観光圏」に認定！
「観光圏」とは、「住んでよし」「訪れてよし」の、日本の顔となる観光地を地域とともに作り上げる、観光庁の事業です。

今回、新たな滞在型観光エリア作りの取組みを、小値賀町と一体で進めている「『海風の国』佐世保・小値賀観光圏」の実施計画が、今年4月、「観光圏」に見事選ばれました。

これを契機に、両市町の地域住民の皆さんと共に、更なる魅力あふれる観光地域づくりを進めます。

■１１１周年記念事業の「フォトコンテスト」を実施中！

佐世保の様々な魅力を題材とした「させぼ観光デジタルフォトコンテスト」を実施中です。市制施行111周年にちなみ、グランプリ作品には賞金111万円を贈呈します。今回のポイントとして、ソーシャルネットワーク（フェイスブックやツイッター等）を使い、佐世保の魅力を、全国・全世界に向け広く発信したいと考えています。（募集期間…来年1月31日まで。）

■平成２６年度完成に向け、国際ターミナルを整備中！



日本の「西（West）」にあるという地の利を生かし、東アジア諸国との経済交流等を推進するため、佐世保港の活用は、大変重要であると考えます。

その中でも重要な施策として、韓国釜山との国際定期航路開設を目指して「多目的国際ターミナル整備事業」を進めており、岸壁や泊地の整備に続き、本年度から、旅客ターミナルを整備中です。ターミナルは佐世保港初の「CIQ施設（税関、出入国管理、検疫業務を行うための施設）」を備えるもので、これにより、海路での外国人観光客の受け入れ環境が整います。

この取組みを後押しするものとして、佐世保港は一昨年、国土交通省の「日本海側拠点港（国際定期旅客機能）」に選定されました。中国・韓国等の経済発展を、国内の経済成長に取り込むこと等が目的とされており、佐世保から効果が及ぶものと、強く期待しています。

この他、交流人口の拡大を実現するために、国際航路開設に加え、クルーズ客船誘致等の取組みも、強化していきます。

②安全・安心なまちプロジェクト

■自主的な防災への取組みを、積極的に支援します！

自主防災組織とは、地域住民が協力し合って自主的に防災活動を行い、被害の拡大を防ぐために活動する組織です。

7月1日現在、299の自主防災組織が結成されており、様々な活動や訓練が行われています。6月には、大雨による災害を想定した防災訓練が大宮町3組で行われ、住民等約100人が参加しました。

今後も万一の場合に適切かつ迅速な対応ができるよう、住民の皆さんへの研修を通じて防災意識の啓発・防災知識の周知を図るとともに、住民参加型の避難訓練等も実施します。併せて、自助・共助・公助の連携を深めながら、地域防災力を向上させるための自主防災組織の結成を積極的に推進するとともに、自主的な防災活動に対する支援等を行うことで、組織の育成強化も図ります。



■「救命救急センター」を建設中

昨年4月、佐世保市立総合病院内に「救命救急センター」が開設されました。県内3ヶ所目で、県北唯一の三次救急医療機関です。現在は、病院内の一部救急室や病床が使用されていますが、来年3月にセンターの専用棟が完成予定です。最新の医療機器が設置され、人員体制も拡充されます。

この新センターを命に関わる重症救急患者の「最後の砦」として、これからも県北地域の三次救急医療に取組みます。

③地域の絆プロジェクト

■地域コミュニティの推進に向けて

地域では従来、住民相互の協力や「お互いさま」の精神等により、日々のくらしの安全・安心が保たれてきました。しかし近年、少子・高齢化や核家族化の進展、町内会加入率の低下等により、地域コミュニティの絆や結びつきを維持することが、難しくなっています。

そこで昨年11月、「佐世保市地域コミュニティ推進指針」を策定し、地域コミュニティ活性化に向けたモデル事業を、山澄・宮・大野・吉井の4地区で実施中です。

住民の皆さんが、地域活動の必要性や、参加の重要性をより深く理解し、地域の輪を広げることで、活力ある地域コミュニティが再構築されると考えます。将来も安全・安心なくらしを守るため、「住みよいまち」を皆さんと共に作ります。

■公共交通不便の解消に向け、協働！

高齢者や車を持たない方等、主に「交通弱者」の移動の足を確保するため、幹線道路や公共交通機関への接続が不便な「交通不便地区」のうち、大野等2地区を対象に、現在、乗り合いタクシー等の導入を推進中です。

この「交通不便地区対策事業」は、市民協働によるまちづくりの一つで、導入に当たっては、持続可能な仕組みとするために、地域住民主体の協議会、事業者、行政が、それぞれ果たすべき役割について協定を結び、三者一体となった取組みを進めます。

今年度は、世知原地区での社会実験が終了し、本格運行に移ります。他の交通不便地区についても、地域と協議をしながら、取組みを進めていきます。

市長からのメッセージ

■新しい「市民憲章」を制定！

佐世保市民憲章は、「日常の市民生活における合いことば」として、昭和48年に市制施行70周年にちなみ制定されました。しかし、制定から40年以上が経過し、合併による市域拡大等、社会環境が変化したこと等から、見直しを行いました。

見直しでは、「佐世保市民憲章見直し検討委員会」による素案作成の後、市民の皆さんのご意見をお聞きし、市議会の同意をいただき制定しています。この憲章が市民の皆さんに末永く親しまれ、その精神が受け継がれることを、心から願っています。

■「佐世保市歌」を正午に放送！

現在の佐世保市歌は、昭和27年に市制施行50周年を記念して作られました。公募で入選した歌詞に、佐世保にゆかりのある作家、吉田絃二郎氏が校訂を行い、作曲家の堀内敬三氏が曲をつけたもので、山と海に抱かれた「みなとまち佐世保」を感じさせる曲です。

今年4月から、正午の時刻を知らせる音楽として、佐世保市防災行政無線から佐世保市歌を放送しています（偶数月。奇数月には「西海賛歌」を放送）。こちらも、市民の皆さんに末永く歌い継がれることを願っています。



memo

SAA：馬場貴博君
次回例会／７月２５日１２：３０～
次回献立／助六、ゴボウ天うどん、ところてん